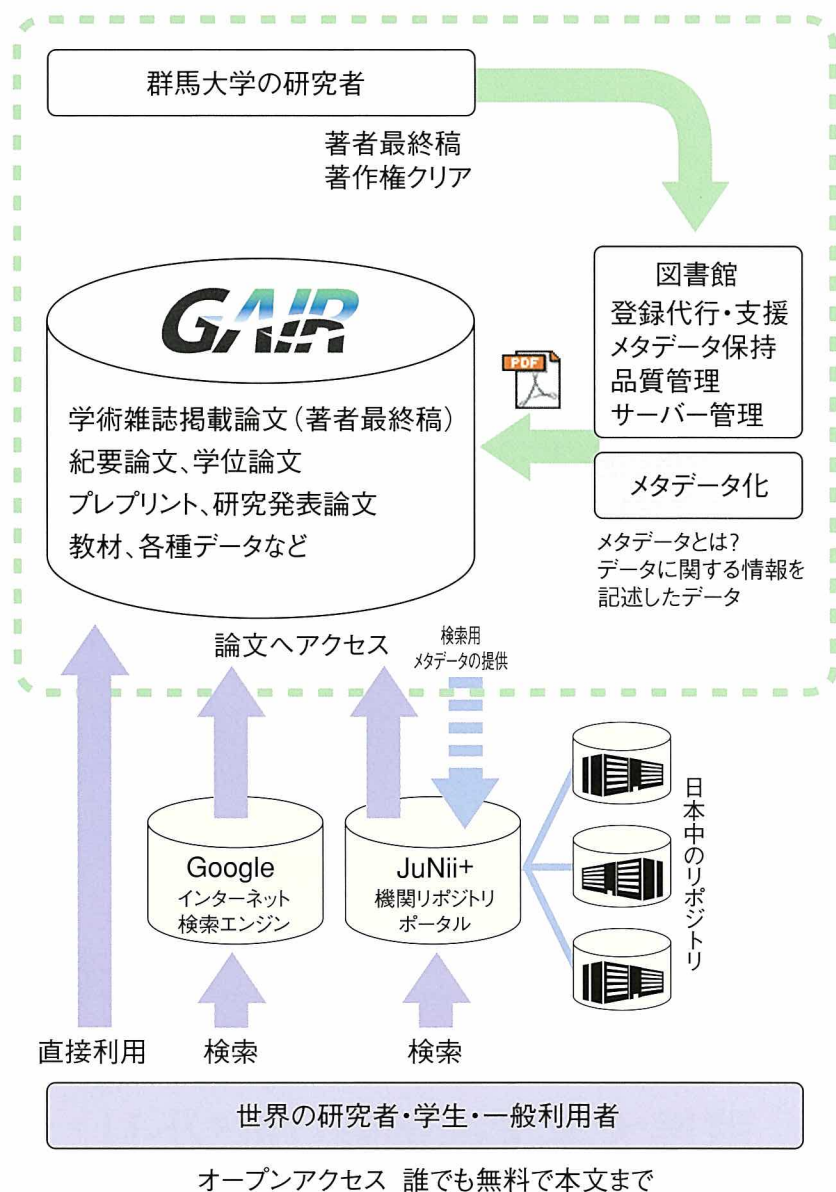




GAIR
Gunma University Academic Information Repository

GAIRとは？

GAIR（群馬大学学術情報リポジトリ）は、
学内研究者の研究論文・学会発表資料・教材などを収集し、
保管するための貯蔵庫のようなものです。
研究機関の知的生産物を電子化データとして収集・保存し、
インターネットを介して世界に発信する仕組みを
「機関リポジトリ」と言い、GAIRは群馬大学の機関リポジトリです。



学術情報リポジトリを活用するメリット

GAIR（群馬大学学術情報リポジトリ）に登録していただくときさまざまなメリットがあります。

研究者

- 研究成果（全文）がインターネットで公開されます。
- 研究成果のVisibility（可視性）が向上します。
研究情報へのアクセスが改善されるため、より多くの人に研究成果が読まれると言われています。
- 研究成果がデジタル保存されます。
ハンドル・システムを採用しており、論文のURLは今後サーバーの変更があっても変わることがありません。

群大の番号

論文の番号

<http://hdl.handle.net/10087/XXXX>

インターネットを使える環境においては、10087以降の番号だけ管理しておくだけで、いつでもご自分の論文を引き出せます。

大学

- 群馬大学に所属する研究者の研究成果の可視性が高まることにより、群馬大学をアピールすることができます。
- 大学の教育・研究成果を積極的に発信し、社会に還元することで社会貢献ができ、国立大学法人としての説明責任を果たすことにもなります。
- 大学の電子化された知的生産物を、責任を持って永続的に保存し、次世代に継承していくことができます。

オープンアクセス化の動き

近年、学術雑誌の販売部数の減少と価格高騰という悪環境の中で、雑誌の危機（シリアルズ・クライシス）と呼ばれる状況がでてきました。国際的な学術流通の変化のなかで、これまでの学術出版社を中心とした動きから機関リポジトリやオープン・アクセス化の動きが広がっています。

英国や米国では科学技術情報や国の機関による助成金の研究成果を無料で公開するよう〈オープン・アクセス化〉勧告してきています。また、大手商業出版社による学術流通の寡占化に対抗して、研究者自身に学術流通の主導権を取り戻そうという活動組織、SPARC（Scholarly Publishing and Academic Resources Coalition）も、オープン・アクセスを強力に推進しており、オープン・アクセスの動きは急速に広がっています。

機関リポジトリをめぐる動き

学術機関リポジトリ（Institutional Repository）は、大学等の研究機関で生産された知的生産物を電子的形態で保存・無料公開することを目的とした電子アーカイブシステムです。機関リポジトリは電子アーカイブシステムの相互運用とオープンアクセス活動の流れが背景となり、現在、急速に世界の研究機関で構築が進んでいます。

こうした動きに対し、海外では多くの出版社、学協会等も研究者による機関リポジトリへの自主保管（多くは著者最終稿）を認めるようになっていきます。

群馬大学としても学術機関リポジトリを構築することを通じて、オープン・アクセス運動に寄与していくことができると考えられます。

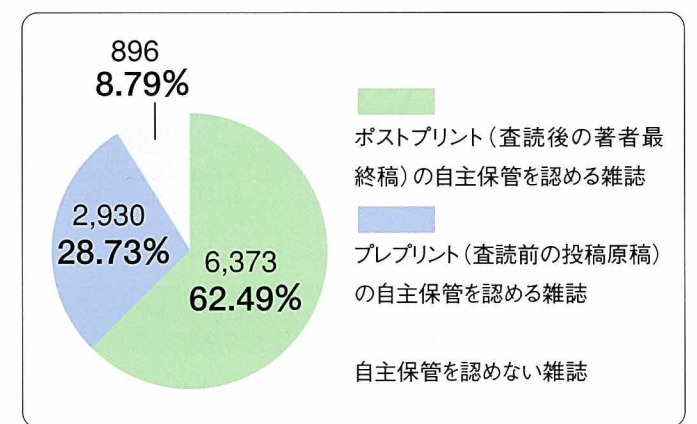
出版社の許諾状況

外国雑誌の場合

Publisher copyright policies & self-archivingで主要な雑誌の許諾ポリシーを確認することができます。

<http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php>

どの版を許諾しているか	出版社の例
出版者版の自主保管（登録）を認める	IEEE, APS, CUP（12カ月後）
ポストプリント（査読後の著者最終稿）の自主保管を認める	Springer, Wiley
プレプリント（査読前の著者原稿）の自主保管を認める	Blackwell
自主保管を認めていない	LWW



RoMEOプロジェクトによる海外の学術雑誌の方針調査より

国内雑誌の場合

日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況が調べられます。

- ・SCPJ：国内学協会著作権ポリシーデータベース
<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/scpj/>
- ・国立大学図書館協会による学協会誌の許諾状況のアンケート結果速報
<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/ir/>

* 国内学術雑誌掲載論文の学術機関リポジトリへの登録可否については、図書館で調査します。なお、学会出版物の場合は、出版事務局がある大学、学部を必ずお知らせください。

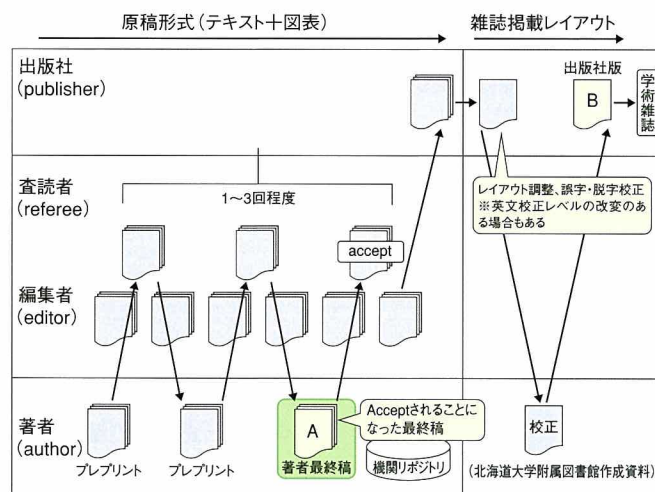
登録対象

学術機関リポジトリは、学術雑誌掲載論文のみならず、以下のように幅広い資料を登録します。

- 学術雑誌掲載論文 ●研究報告（ワーキングペーパー）
- 学位論文（博士論文、修士論文） ●技術文書
- 学会発表論文 ●調査報告
- 国際会議報告（Proceedings） ●教材
- プレプリント その他

多くの出版社が雑誌掲載論文を機関リポジトリへ登録することを認めているのは、出版社版（雑誌用にレイアウト）ではなく、投稿時に提出した著者原稿（査読済最終稿）です。

編集・査読プロセスの例



著作権

登録を希望された論文については、以下の著作権の扱いに同意されたものとします。

- 登録論文の著者または出版社に帰属する著作権は、そのまま保障されます。
- 登録者は群馬大学に対し、次の3点について無償で許諾していただきます。
 1. 群馬大学の学術機関リポジトリに登録すること。
 2. ネットワークで無料公開すること。
 3. 保存等のために複製すること。
- 共著論文の場合は、全ての共著者から上記3点の承諾を得てください。
ご提供頂きました論文の受領にて共著者への許諾済みと判断させていただきます。

群馬大学学術情報リポジトリについてのお問い合わせは

群馬大学総合情報メディアセンター図書館

学術情報サービス係

TEL.027-220-7180、7182 FAX.027-220-7184

E-mail gair@gunma-u.ac.jp

登録手順

登録したい論文と「GAIR登録許諾書」を図書館にお送りいただくだけで登録できます。

「GAIR登録許諾書」は下記からダウンロードできます。

<https://gair.media.gunma-u.ac.jp>

1. 論文の電子ファイルをご用意ください。
（PDF、Word、Excel、一太郎）
*出版社のロゴが入った出版社作成ファイルの使用は禁止している出版社が多いので、著者最終稿をご送付ください。
2. GAIR登録許諾書にご記入ください。
3. 電子ファイルと「GAIR登録許諾書」をメール添付でお送りください。（10MBまで）

メール送付先:gair@gunma-u.ac.jp

問合せ先:学術情報サービス係 内線7180、7182

*容量が10MBを超えるときは電子メールではなく、CD-RやDVD-Rなどのメディアにのせて学内便で図書館宛にご送付ください。

▼ 以下は図書館で作業します。

4. 図書館では出版社が学術機関リポジトリへの登録を認めているかどうかを確認し、メタデータを付与して当該論文を登録します。
送付いただいた論文の登録を出版社が認めていないため、登録できない場合があることを予めご了承ください。
5. 登録後、著者へ連絡します。

紙媒体の論文（別刷、冊子体など）

論文の抜刷など紙媒体の論文等は、学内便で図書館宛ご送付ください。図書館で電子化します。



Gunma University
Academic Information Repository

Gunma University Academic Information Repository

<https://gair.media.gunma-u.ac.jp/>



群馬大学学術情報リポジトリ